

A99

この番号は 9 月上旬
までに HP 上でアナウ
ンスしますのでそれ
に従い記入してくださ
い。講演番号の位置
を変更しないでくださ
い。

山梨講演会 2025 予稿集原稿執筆要領

(和文表題 : Gothic 14pt)

(和文副題 : Gothic 12pt)

Authors' Instruction for Preparing the Manuscript of YDC2025 Proceedings

(英文表題: Times New Roman 12pt)

(英文副題: Times New Roman 12pt)

正 甲斐 太郎 (山梨大) ○学 富士 登 (甲州大) (12pt)

Taro Kai¹ and Noboru Fuji² (10point)

¹ University of Yamanashi, 4-3-11 Takeda Kofu-shi, Yamanashi 400-8511, Japan (10pt)

² Koshu University, 4-xx Takeda, Kofu-ku, Yamanashi 400-0016, Japan (10pt)

発表者には○を記載, 氏名
の前に会員資格を記載す
る。

発表者以外には会員資格
のみを記載する。

正員: 正, 学生員: 学
会員外・他団体 (共催・協
賛) の方は記載不要

This paper describes how to write a manuscript of YDC2025 Proceedings.

.....
.....
.....
.....
.....
.....
..... (10pt, about 100 words)

Key Words: YDC2025, Proceedings, Authors' Instruction, JSME (10pt)

1. はじめに

山梨講演会 2025 予稿集原稿の執筆要領を以下に述べます。予稿集原稿は、電子ファイル(PDF)で作成し、Web 上での電子投稿(アップロード)を原則とします。PDF ファイルでの原稿作成の際には、図表等が不鮮明になる場合がありますので、解像度の設定には十分に御注意・御了解下さい。(10 point)

2. 原稿の著作権について

山梨講演会において発表された予稿集等の内容(以下、講演印刷物と言います(注:今回は、電子版の予稿集のみの発行となりますが、電子版の予稿集の内容も講演印刷物とみなします))の著作権は、日本機械学会(以下、本会と言います)に帰属します。ただし、著作者自身が自身の講演印刷物の全文または一部を複製、翻訳、翻案などの形で利用する場合、これに対して本会では原則的に異議申し立てをし、それを妨げたりすることはしません。第三者から、講演印刷物の複製あるいは転載に関する許諾の要請があり、本会において必要と認めた場合には、著作者に代わって許諾することがあります。

山梨講演会に原稿を投稿頂いた時点で、上記の著作権移譲に関する条項をご承諾頂いたものと見なします。

3. 原稿の書き方

ご提出頂く講演予稿集原稿は以下の書式に従って下さい。本原稿見本は所定の書式に合致するように作られています。この書式をテンプレートとしてお使い下さい。

- ・ 1 題目あたり A4 サイズで原則 **2～6 頁**です。講演論文は電子版原稿のみです。
- ・ 原稿は、A4 判の白紙に、上下 20mm, 左右 20mm のマージンを取り、本文は 10 ポイントの文字を使用し、1 段組×

50 字×46 行とします。

- ・ 題目を 1 ページ目の上中央に和文・英文の順に書いて下さい。和文表題は 14 ポイントのゴシック体, 和文副題は 12 ポイントのゴシック体, 英文は 12 ポイントの文字を使用してください。
- ・ 和文氏名は 12 ポイントの文字を使用してください。氏名の右に所属を丸括弧で囲んで略記し, 左には会員資格を正・学のように書き添えて下さい。講演発表者の前に○印を付けて下さい。英文氏名, 所属機関の名称・所在地を 10 ポイントの文字を使用して記載して下さい。共著者の所属が異なる場合は, 脚注番号を使ってそれぞれの所属を書いてください。
- ・ 表題・氏名・勤務先と本文との間に, 10 ポイントの文字で, 100 ワード程度の英文アブストラクトを記載して下さい。アブストラクトには 3 ～ 5 語程度のキーワードを英文で付記して下さい。
- ・ 図表, 写真は鮮明なものを原稿中に貼り込んで下さい。図表内の文字, ならびに図表のタイトルと説明は英文とします。

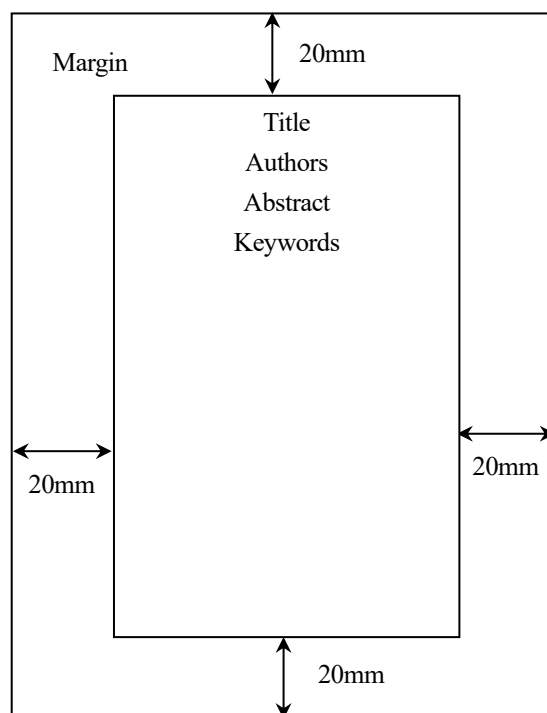


Fig.1 Spacing.

- ・数式は式(1)のように, 数式スタイルを適用し, タブを挿入し, 式番号を右端に付します。

$$f = m\alpha$$

(1)

- ・本文中の引用文献は, 引用箇所右肩に上つきで小括弧をした番号(1)を示し, 末尾に一覧をまとめて下さい。

4. 電子ファイル原稿作成時の注意

4.1 図表とファイル容量

図表・写真も原稿内に(電子的に)貼り込んで下さい。転送ファイル容量に制限がありますので, ファイルが特に大きくなる場合には予め実行委員会にご相談下さい(ファイル容量制限の目安は, PDF に変換後 1 原稿あたり 3MB 程度とご考え下さい)。

4.2 原稿の電子化

原稿の電子化は, 原則として著者において行って下さい。電子化ファイルは PDF 形式のみを受理します。著者における原稿の電子化が周囲の方々の協力を得てもどうしても困難な場合には, その旨を実行委員会にご連絡下さい。PDF ファイルの作成にあたり, 「フォントの埋め込みを行う」よう設定して下さい。原稿は, 提出前に必ず複数のデバイス等で文字

化けがないことを確認して下さい。

5. 原稿の提出方法

原稿締切日を厳守して下さい。原稿の提出は山梨講演会のウェブサイトより行ってください。講演原稿ファイル名は、著者が自由につけて頂いて結構です。事務局にて管理用ファイル名に変更します。

参考文献（例）

- (1) 鷹揚, 他, 機論(B編), 70-693 (2004), 1163.
- (2) Tsugaru, T. et al., Trans. ASME, 100 (1978), 450.